

野口の活動中！
太田 彩
(平成27年6月)

勝野(竜)で活動中！
原 周右
(平成27年8月)



私たち、地域おこし協力隊です

平成27年度から、長崎県佐世保市出身の太田 彩さんと、大阪府堺市出身の原 周右さんが高島市地域おこし協力隊として活動しています。地域おこし協力隊は、実際にその地域で生活をしながら、地場産品の開発・PR等の支援などの「地域協力活動」を行い、その地域の活性化の方法を提案し、実施していく役割を担っています。

協力隊に聞く！

高島の印象は？
太田さん
原さん

静かでのんびりなところといのが第一印象。水や田畑が近くにある環境はともに入っています。旧町村の色が強い市内で共通していることですね。
土地も空も広い！でも昔からの人の繋がりが残っていて安心します。

高島に来てから変化は？
女子力が上がりました(広報6月号11ページコラム参照)。
集落としては寄る機会が増え、各団体の動きを住民さんが知るようになってきたかな？
子どもに優しくなった。休日も活発に出かけるようになりました。

集落では、どんな活動をしているの？
炭を焼いて、木を切って、果樹を採って、歴史書をまとめているです。

福祉活動や、集落を大学生の学びの場にする活動をしています。今後は、大学を引き込み地域防災の向上に取り組みたい。
マキノ町野口で遭遇できません。在原や社会福祉協議会のボランティアセンター、朽木にもたまに出発します。



日中は市外も含めていろんなところに出発します。夕方からは市役所にいることが多いです。夜型人間ですから。

集落外にも行く？
軸足を野口に置いていますが、必要に応じて遠出します。集落の外の活動も多いです。最近では学校関連の活動が多いですね。



寄り合い活動の企画・運営



大溝祭
伝統文化の保存や伝承活動への参画



炭焼き活動
集落資源の活用検討



安曇川高校で
学校での出張授業



手書き広報「お～たより」
地域の行事や団体の活動を発信 (Facebook等)



Facebookはこちら

その他、市の移住定住施策やブランド戦略事業に関する取り組み

「学校関連の活動」って？

今は、地域学習への協力が主です。高島の子もたちが、高島のことを知り、魅力を感じ、誇りに思ってくれるように、そして将来、高島で活躍してくれるような仕掛けを考えています。今後は、先生や地域の皆さんと「学生が地域の中で学び」魅力的な授業を作っていきたいですね。

太田さんの今後の課題は？

課題というか、住民さん個人として付き合っていて思うことは、自分に自信を持って楽しく生活してほしいということ。年齢・性別関係なく各々ができることをやる、役割を演じることが限界集落では必要なことだと思います。周りも、あの人はこんな事できないと決めつけるのではなく、できるようにサポートする、できそうな役割を探すことを進めてほしいですね。

移住後の楽しみは？

野良仕事！
竜のメンスとお酒を飲むこと！

近々の目標は？

自転車部始動！



今年度から、地域おこし協力隊に関する事務を担当しています。二人とも、高島の魅力に取りつかれ、この地域を元気にするお手伝いをしたいとの熱い思いを持って、さまざまな活動を展開しています。この二人にも、誇れるふるさとがあります。そのふるさとを大切に思うから、地域の皆さんが心の奥にお持ちの郷土の宝を理解してくれています。協力隊と一緒に、高島にあるものに価値を見出す、「あるものを活かすまちづくり」を進めていきましょう。協力隊に関することは、いつでもお問い合わせください。



市民協働課 加藤 圭子

問題や課題を客観的に見る鋭い眼

原さんは着任1年ですが、みんなからは「5年くらい付き合いしているような気がする」と声を掛けられています。着任以来、自治会内のすべての会合へ参席いただき、第三者的な視点で分析していただいた結果、当会の問題や課題を解決する道筋や手法が見えてきました。今後は自治会の役員としてさらに深く参画いただき、企画立案にまで関わってくださるよう期待しています。



高島勝野 竜自治会 笠井 譲さん

区の役員よりも事情通になったかも！?

太田さんは着任以来、区内各種行事に積極的に参加してくれたおかげで、触発された区民の参加率が高まりました。さらに「すずめサロン」は、区内集落間、世代間において新たな人の往来や交流を生み出しました。今後は、市と隊員、区のみならず、区民自らが結束して地域を盛り上げていけたらと考えています。



マキノ 野口区 河野 秀雄さん